

Volume 1

CONTENTS

はじめに 4

第1章 あなたとお金のつきあい方

Subject 1	お金ってそもそも何だろう？	6
Subject 2	お金が貯まる人と貯まらない人	8
Subject 3	人生の貯め時を知ろう	10
Subject 4	時代の変化とともに求められる 家計力とは？	12
Subject 5	ニッポンの家計簿	16
Subject 6	家計力がないとこうなる!? 未来を考えたお金管理	18
Subject 7	性別・学歴・就業形態で変わる生涯賃金	20
コラム		22

第2章 夢をかなえるライフプランをたてよう

Subject 1	あなたの夢に日付と予算を入れてみよう	24
Subject 2	あなたもライフプランを作成しよう	28
Subject 3	結婚・出産にかかるお金	30
Subject 4	子供の教育にかかるお金とポイント	32
Subject 5	住宅にかかるお金	34
Subject 6	老後の資金はいくら必要？	36
Subject 7	その他人生にかかるお金	38
コラム		40

第3章 知っておきたいお金の知識

Subject 1	給与明細書の中身を読み解いてみよう	42
Subject 2	押さえておきたい税金の知識	46
Subject 3	公的年金のあらましを知っておこう	50
Subject 4	公的健康保険とは？	54
Subject 5	40歳以上の人全員加入する公的介護保険	56
コラム		58

第4章 これだけはおさえておきたい保険とローンとお金のトラブル

Subject 1	生命保険、医療保険の選び方	60
Subject 2	損害保険の入り方を知っておこう	66
Subject 3	住宅ローンの基礎知識	70
Subject 4	教育ローン・その他のローン	74
Subject 5	クレジットカードのトクと注意点	76
Subject 6	お金のトラブル	78

■ ■ ■ はじめに ■ ■ ■

お金、それは私たちが一生つきあっていかなければならない、人生の大きなテーマだといえるのではないのでしょうか？

お金持ちの人もいれば、そうでない人もいます。貯蓄が趣味という人もいれば、稼いだ分だけ使って、今日その瞬間を楽しめればいいという人もいます。

お金に対する考え方も人それぞれではありますが、私たちが生きていくうえで、お金とのつきあい方を考えていくことはとても大切です。

今も大事ですが、未来も大事。未来を犠牲にして今だけ楽しむ生き方も、未来のために今を犠牲にする生き方も、いずれも間違いです。今を大切にしながら、もう少しだけ、未来の自分に配慮して生きることも大事です。

何よりも、お金は人生をよりよく生きるためのエネルギーですから、賢くつきあって、効率よくパワーにして、夢を実現できるようにしましょう。

本講座では、今のお金とのつきあい方を見直して、「賢いお金の貯め方・増やし方」を学んでいきます。

1巻では、『将来のためのお金の知識と心構え』として、あなたとお金のつきあい方を見直すことから始めます。

「その日暮らし」「今だけ楽しければ」といった考え方で日々を暮らすことが、どれだけ自分の未来の可能性を狭めているかがわかります。お金が貯まる人、貯まらない人ではどう違うのか、あなたの夢をかなえるためのライフプランづくりもおこないます。

またお金には、知らないと損する社会保障や税金の制度があります。めまぐるしく変化する国の制度や経済の変化についても、覚えておきましょう。

お金とはなにか、お金に関する知識を知って、あなたが上手にお金を管理できる賢い家計力を身につけていきましょう。

第1章

あなたとお金のつきあい方

お金ってそもそも何だろう？

お金の役割を考えてみる

お金とは何なのでしょう。

ぱっと1万円札を出した時に、あなたはどんな気持ちになりますか？

「あ、お金だ」でしょうか。「欲しい」でしょうか。「おいしいもの食べたい」でしょうか。

単なる「紙切れ」以上のものとして認識させる力があるのが、「お金」の力であり、怖さでもあります。ときには、この紙切れが原因で犯罪が起きたりすることもあるのですから。

お金には3つの役割があります。

1つは、交換の手段です。もしもこの世にお金がなかったらどうなるでしょう？ たとえばAさんが、ハンバーガーを食べたいと思っていたとします。Aさんは野菜をつくっていて、トマトならたくさん持っています。この場合、Aさんは、ハンバーガーをつくっていて、トマトを欲しがっている人を探さなければならないのです。そんな人を探しまわっていたら、ハンバーガーなどなかなか食べられません。

しかし、お金があれば、そのハンバーガーの価値をお金に置き換えることで、ハンバーガーショップでお金と交換することができます、つまりそれが「買う」ということです。お金は、万能な交換の手段といえます。

2つ目は、価値貯蔵です。労働で得た「付加価値」を、すべてバナナで受け取ったのではすぐに傷んでしましますが、お金で受け取れば長い間腐ることもなく、価値を保存することができます。これもお金の重要な役割の1つです。

3つ目は、価値尺度です。ものに値段をつけてお金で計るからこそ、AとB2つの商品があった時に、どちらの方が価値が高いのかなどを比較することができます。もちろん、お金で計れない価値もあるので、値段だけを見て比較するのは間違いでもあります、大きな尺度の1つです。このような役割を持っているのが、お金なのです。

<お金の役割>

- ①交換の手段 ②価値貯蔵 ③価値尺度

何のためにお金を貯める？

では、なぜ私たちはお金を貯めるのでしょうか？ それは、「価値」を蓄えて安心を確保し、そして何よりも自己実現するためです。

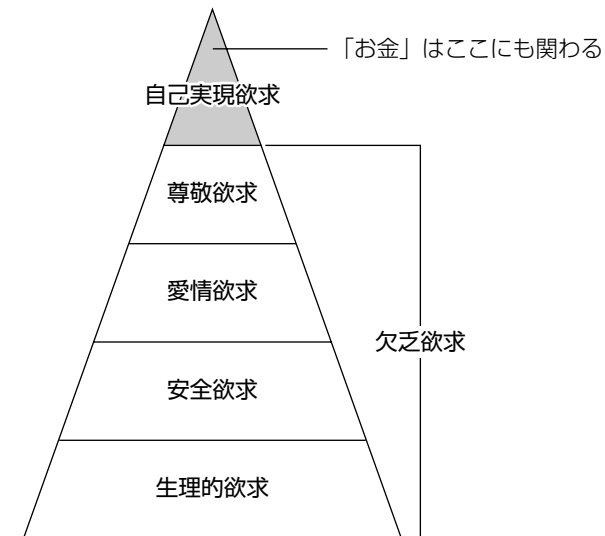
マズローの欲求段階説でいう、最も高次元の「自己実現の欲求」にかかわるもので、人生においても非常に重要な「ツール」がお金でもあるのです。

お金を持つことによって夢をかなえたり、自分が生まれてきた意味を具現化したり、自己実現できる状態に近づくことができます。お金を貯めるためのプロセスとして、一生懸命働いて社会における自分の市場価値を上げたり、社会に貢献する役割を担うゆとりも生み出します。

もちろん、お金がなくても夢を実現できる例がないわけではありません。しかし、お金の余裕がなく、お金がないという不安にかられて日々の生活に手一杯では、自分のやりたいことも我慢しなければなりません。お金があれば、夢をかなえる時間を短縮させることもできますし、次のステップにスムーズに進むことが出来ます。また、夢をかなえるための手段の選択肢や、実現できる可能性は確実に広がります。

ただ単にお金を貯めれば満足というのでは、単なる拝金主義（お金フェチ）です。それは人生に何の意味ももたらしません。

あくまでも、お金は使うために貯めるものです。どんなお金の貯め方をして、そしてどんなお金の使い方をするか。実は、それこそがその人の生き方が現れるものでもあります。



マズローの欲求段階説

アメリカの心理学者マズローの欲求段階説では、人間の欲求は、生理的欲求、安全欲求、愛情欲求（所属欲求・社会的欲求）、尊敬欲求（承認欲求）、自己実現欲求という階層になっている。しかも、より下層の欲求が満たされないと、より高次元の欲求は満たされないとされる。